



2025年度

小井手橋

福山市神辺町地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長	L=24.0m
橋長	L=24.0m	
有効幅員	W=5.0m	
ひび割れ補修工	L=0.3m	
断面修復工	A=8m ²	
表面含浸工	A=110m ²	
橋面防水工	A=120m ²	
舗装工	A=135m ²	
伸縮目地工	L=19.2m	
地覆工	L=48.0m (V=2m ³)	
防護柵工	L=48.0m	
仮設工	一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（小井手橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の常駐義務の緩和

現場代理人の工事現場への常駐義務緩和については、一定の要件を満たすと発注者が認める場合（※）とします。

（※）一定の要件を満たすと発注者が認める場合とは発注者との連絡体制を確保した上で、次の(1)から(4)のいずれかの条件に該当する場合です。

（必要に応じ、工事打合せ簿で協議により承諾を受けていること。）

- (1) 現場作業着手前までの期間
- (2) 工事の施工が一定期間、全面的に行われていない期間
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事現場が完了した後、竣工検査までの期間

第6節 現場代理人の兼務

次のいずれかの条件に該当する場合は、現場代理人の兼務を認めます。

（特記仕様書に現場代理人の兼務を認めない記載がある場合を除きます。）

- (1) 本市（上下水道局を含む。）発注の設計金額 500万円未満の工事である場合
- (2) 本市（上下水道局を含む。）発注の設計金額 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事の場合は500万円以上9,000万円未満）の工事である場合。ただし、兼務できる工事の件数は、1人3件までとします。

【災害復旧工事の取り扱い】

・請負金額4,500万円未満（建築一式工事の場合は 9,000万円未満）の災害復旧工事については、同一の現場代理人が兼務 することができる件数に制限を設けません。

- (3) 同一敷地内又は近接する工事（至近距離 1 km 以内）で、同種工事（広島県土木工事標準積算基準書等に規定する工種区分による。）となる場合
- (4) 前工事と後工事が一体の構造物として完成してはじめて機能を発揮するもので、後工事が随意契約により締結される場合
- (5) 工事現場が完了し、完成通知書等の書類全てを提出している場合

第7節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事は河川管理者との協議により、2025年（令和7年）6月16日から2025年（令和7年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。

受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 工事支障物件

- ・調査項目：水道管、通信管位置確認
- ・調査時期：工事施工前に配管位置の確認を行うこと。
- ・提出書類：受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物、添架物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：橋梁点検車、吊足場

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第7節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、福山市週休2日モデル工事の実施について対象外とします。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.05.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	式			Y1G03240402 レベル4
低圧注入工法 【材料種類】		構造物			Y1G03240402 レベル4
断面修復工	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0001 表
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G032405 レベル3
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.395m3	1	構造物			Y1G03240501 レベル4 S1020041 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面被覆工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
表面含浸					Y1G03240601 レベル4
		橋			
表面含浸工 下地処理					F0000000042 00
	110	m2			
表面含浸工 含浸材塗布					F0000000043 00
	110	m2			
表面含浸材 シラン系表面含浸材					F0000000005 00
	22	kg			
橋面防水工					Y1G0304 レベル2
	1	式			
橋面防水工					Y1G030404 レベル3
	1	式			
橋面防水 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1G03040405 レベル4
		m2			
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系					SS000255 00
	120	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工					Y1G0304 レベル2
	1	式			
舗装打換え工					Y1G030402 レベル3
	1	式			
舗装版切断 【舗装版種別,舗装厚】					Y1G03040201 レベル4
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	18	m			SPK24040306 00 単第0 -0004 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】					Y1G03040202 レベル4
		m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	135	m2			SPK24040305 00 単第0 -0005 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】					Y1G03040211 レベル4
		m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	135	m2			SPK24040241 00 単第0 -0006 表
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮継手工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
鋼・ゴム製伸縮装置補修 【工種,伸縮装置本体型式】 【仕様,伸縮装置本体材料の計上】					Y1G03210103 レベル4
		m			
伸縮装置工 簡易補修 TS目地ガードN相当品 1橋当り20m未満 既設伸縮目地撤去含む					V0060 00
	19	m			単第0 -0007 表
排水施設工					Y1G032103 レベル3
	1	式			
排水装置取替 【柵規格】					Y1G03210301 レベル4
		箇所			
既設排水管撤去工 鋼管					V0010 00
	4	箇所			単第0 -0008 表
排水装置設置工 鋼管 上流側					V0011 00
	2	箇所			単第0 -0009 表
排水装置設置工 鋼管 下流側					V0012 00
	2	箇所			単第0 -0010 表
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】					Y1G03270601 レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工					SDT00031 00
地覆工	0.01	m3			単第0 -0011 表
場所打地覆 【形状寸法】	1	式			Y1G032104 レベル3
地覆増し打ち工 ck=24N/mm2		m			Y1G03210401 レベル4
橋梁用防護柵工	1	式			V0020 00
防護柵撤去(ガードレール)	1	式			単第0 -0012 表
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 Ap, Bp, Cp(支柱間隔2m)	48	m			Y1G032105 レベル3
橋梁用防護柵		m			Y1G03270101 レベル4
防護柵設置工 ベースプレート式 笠木付 支柱H950 曲柱 Gr-C-2B-4L-BPL	1	式			SS000127 00
					単第0 -0018 表
					Y1G03210501 レベル4
					V0070 00
					単第0 -0019 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋名板等取付 橋名板 300×150×15	4	枚			SPK24040296 00 単第0 -0020 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03040205 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	0.4	m3			SPK24040151 00 単第0 -0021 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	7	m3			SPK24040151 00 単第0 -0022 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03040206 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	1	t			T9005 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	16	t			T9006 00
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1G03271603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)	0.5	t			SPK24040410 00 単第0 -0023 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ H3	0.5	t			F000000010 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y1G032816 レベル3
足場 【作業区分,基礎形式,高さ】		m			Y1G03281602レベル4
<賃>橋梁点検車 作業高約6m,積載質量200kg	2	日			KH000416 00

本工事費 内訳表

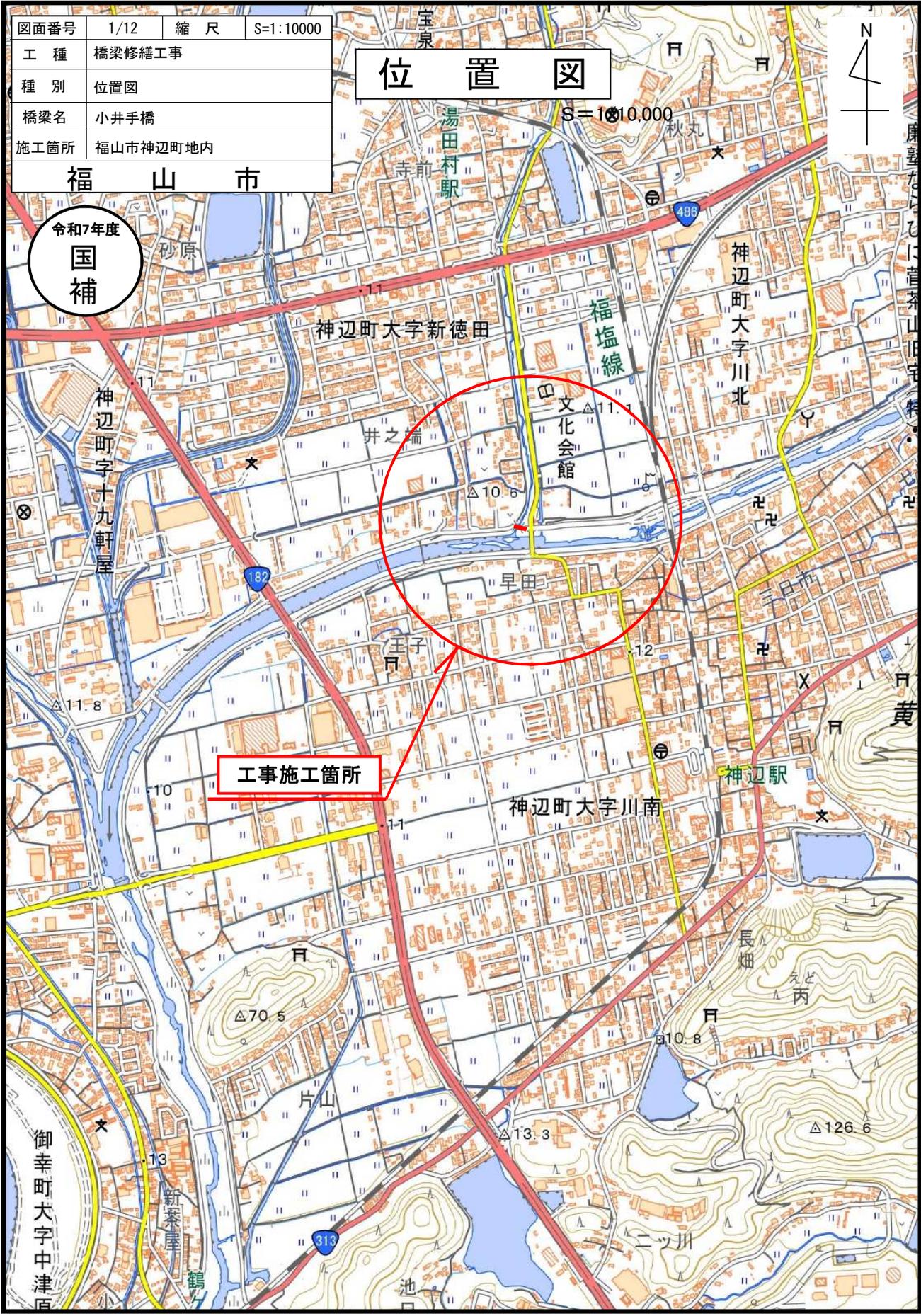
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
PC橋補修用足場工 上部工部	1	式			V0030 00 単第0 -0024 表
PC橋補修用足場工 橋脚部	1	式			V0040 00 単第0 -0029 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	40	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					

図面番号	1/12	縮尺	S=1:10000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図		
橋梁名	小井手橋		
施工箇所	福山市神辺町地内		

位置図

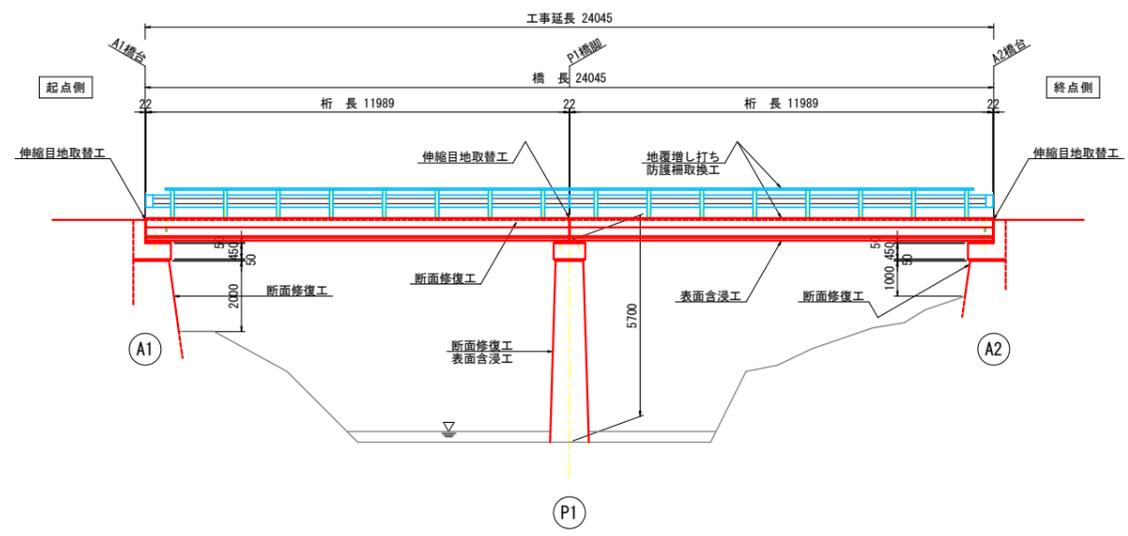


令和7年度
国補

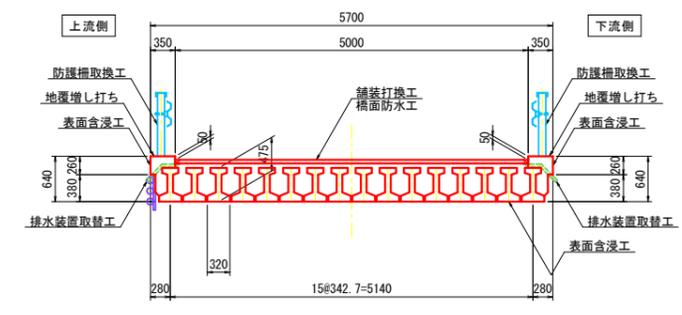
工事施工箇所

小井手橋 補修対策工一般図

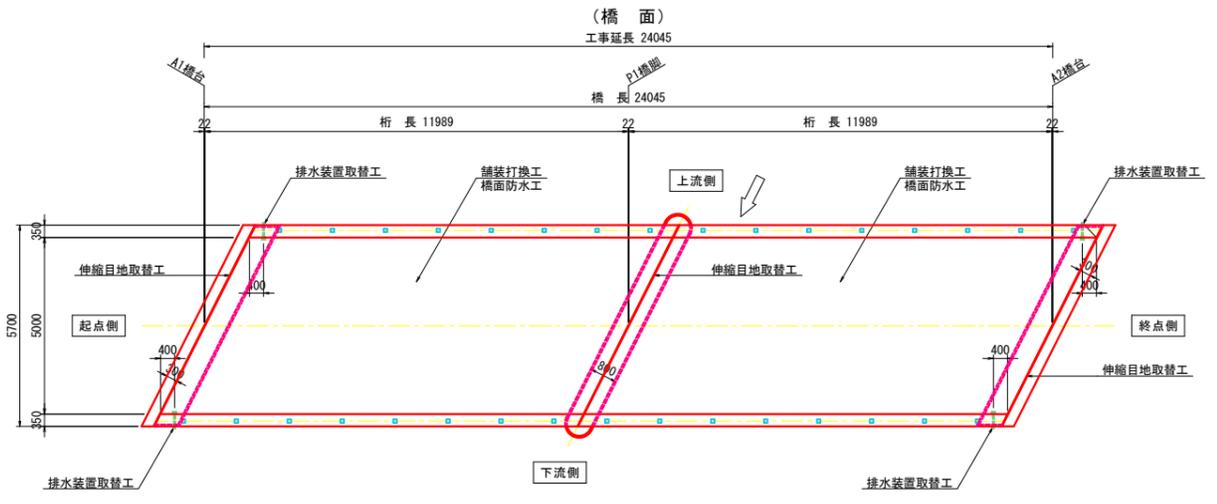
側面図
S=1:100



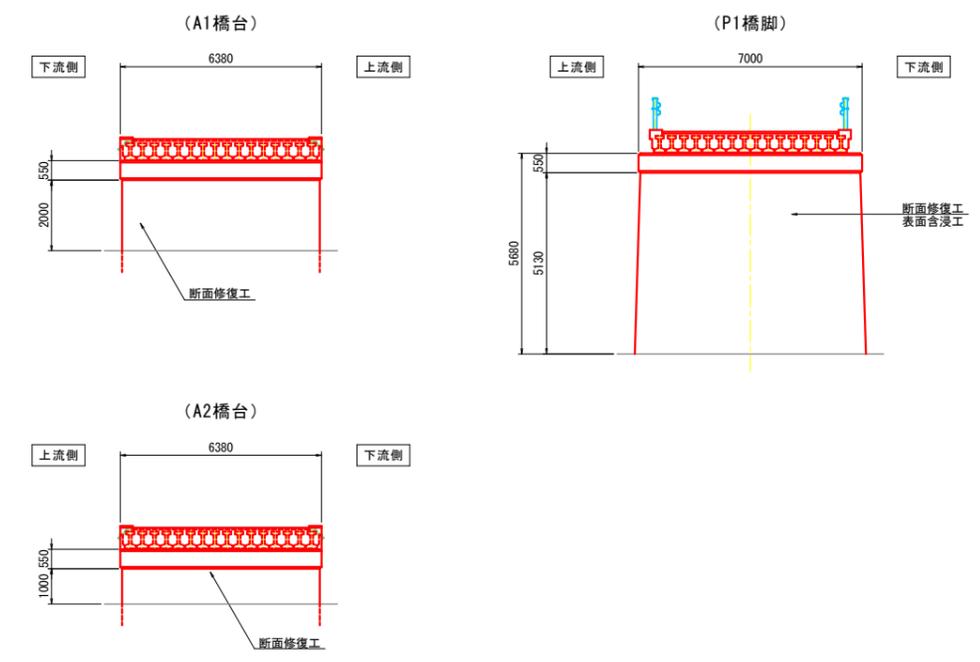
上部工断面図
S=1:50



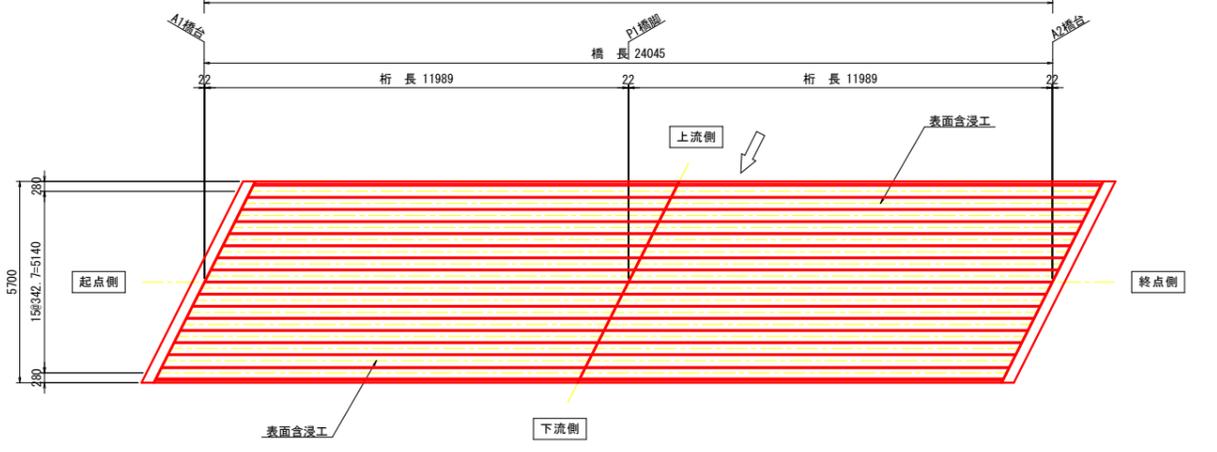
平面図
S=1:100



下部工正面図
S=1:100



(桁下面)
S=1:100



A1→A3に縮小印刷



工事名	橋梁修繕工事(小井手橋)		
図面名	補修対策工一般図		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

小井手橋 補修図 (その1)

断面修復工
ひびわれ補修工

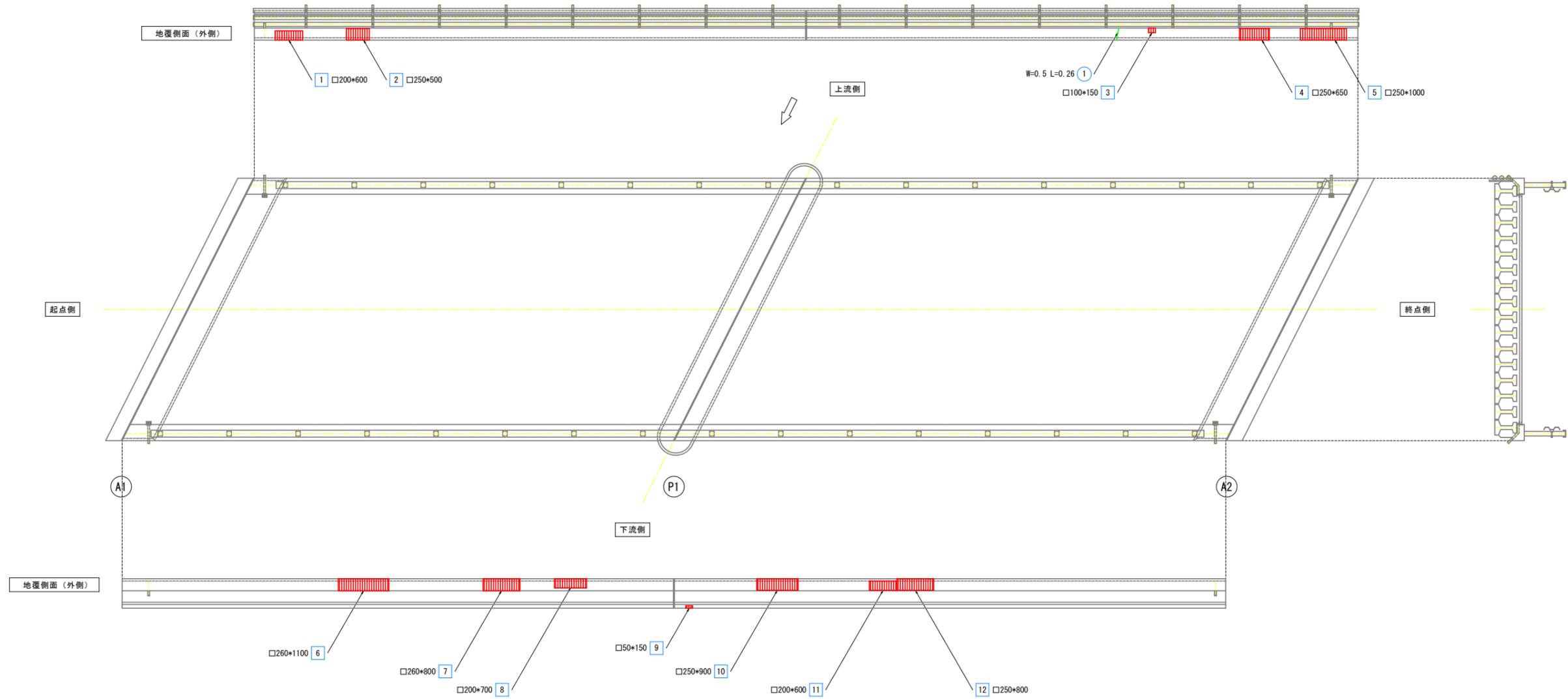
S=1:50

凡例

	幅 × 横 (mm) (mm)		断面修復工 (左官工法)
	幅 × 長さ (mm) (m)		ひびわれ注入工法

特記事項

- 補修範囲については、施工状況を確認しながら適時変更して決定すること。
- 左官工法のはつり深さは、50mmと想定。



- 注) 1. 施工時においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 鉄筋が断面欠損している場合、同等鉄筋を添え筋すること。
3. 添え筋範囲・長さ等は、はつり後に鉄筋の状況等を確認して決定すること。

A1→A3に縮小印刷



工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (1 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

小井手橋 補修図 (その2)

断面修復工 S=1:50

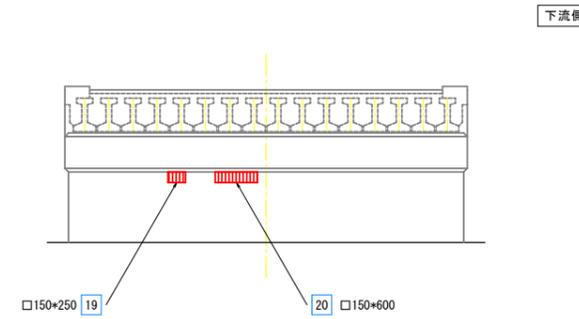
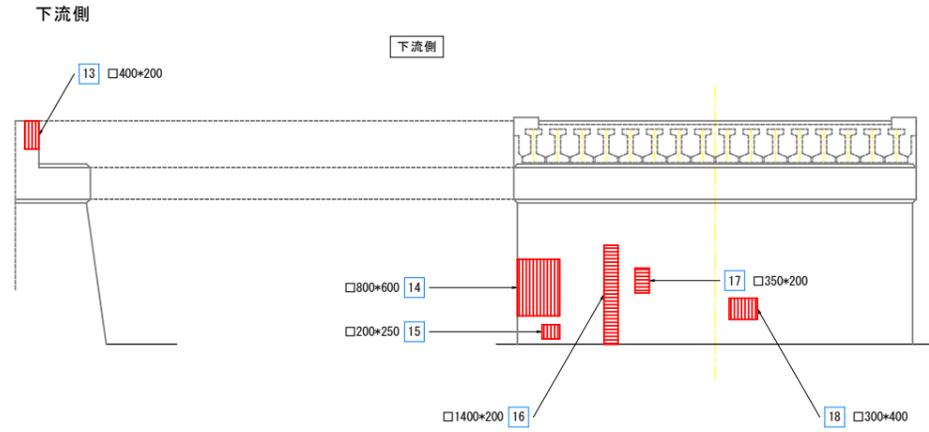
凡例

	縦×横 (mm) (mm)		断面修復工 (左官工法)
---	------------------	---	--------------

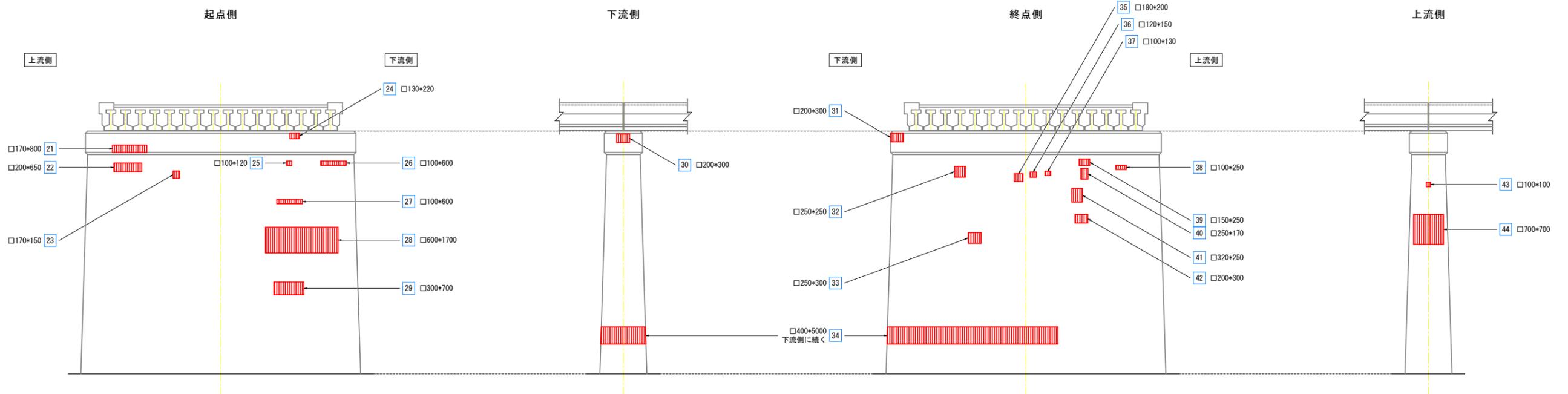
- 特記事項
- 補修範囲については、施工状況を確認しながら適時変更して決定すること。
 - 左官工法のはつり深さは、50mmと想定。

A1橋台

A2橋台



P1橋脚



- 注) 1. 施工時においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
 2. 鉄筋が断面欠損している場合、同等鉄筋を添え筋すること。
 3. 添え筋範囲・長さ等は、はつり後に鉄筋の状況等を確認して決定すること。

A1→A3に縮小印刷



工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (2 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

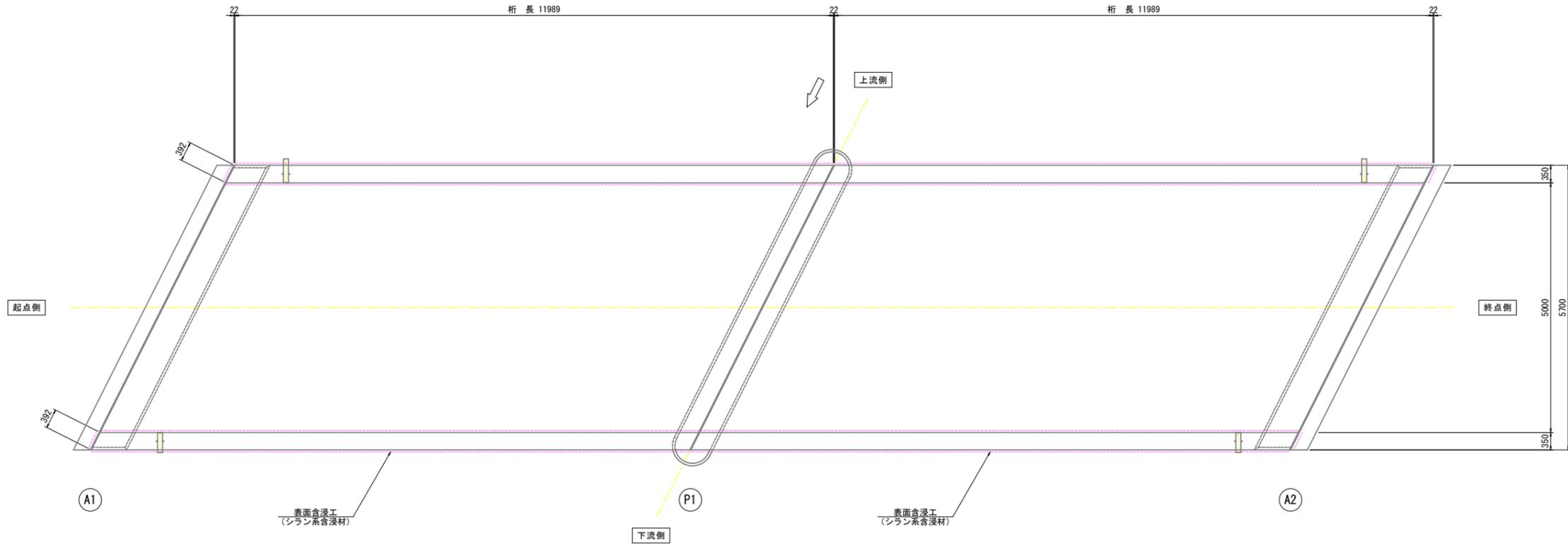
小井手橋 補修図 (その3)

表面含浸工 S=1:50

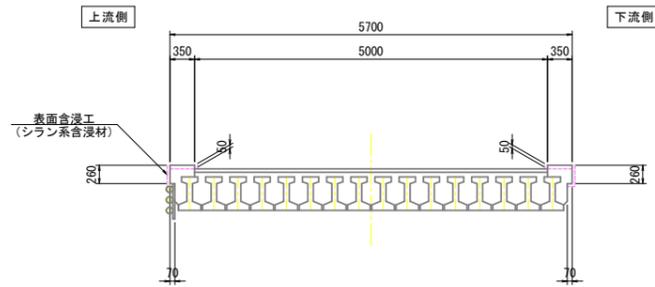
凡 例

	表面含浸工法 (シラン系含浸材)
--	---------------------

平面図
(橋 面)



上部工断面図



注) 1. 施工時においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 表面含浸工は、断面修復を実施した後に施工すること。

A1→A3に縮小印刷



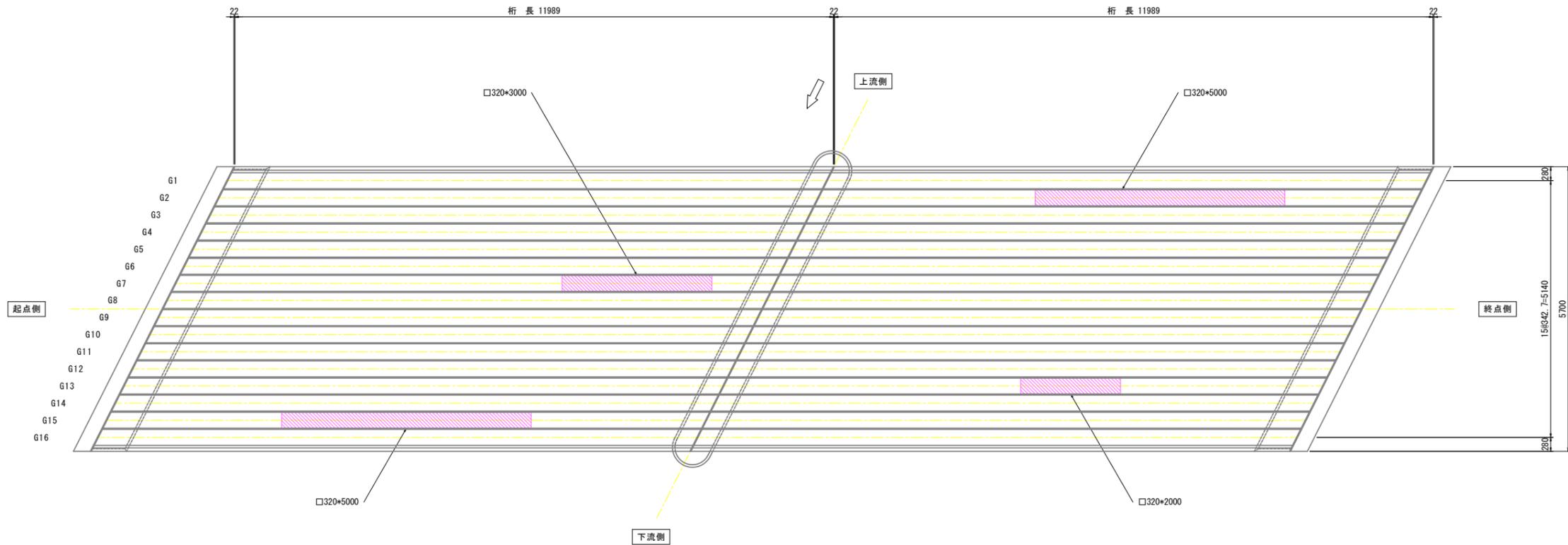
工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (3 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図 示	図面番号	5 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

小井手橋 補修図 (その4)

表面含浸工 S=1:50

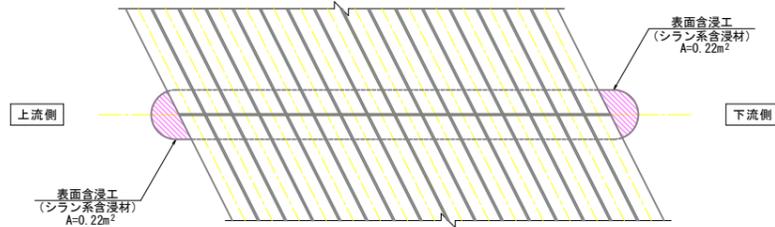
凡例
 表面含浸工
 (シラン系含浸材)

平面図
 (桁下面)

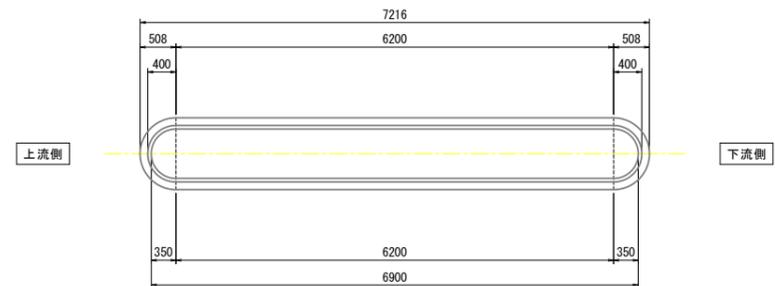


P1橋脚

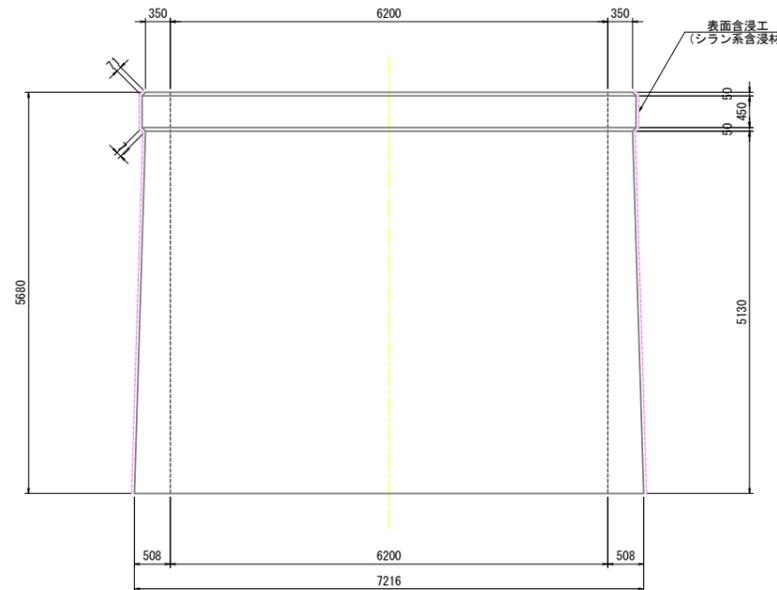
橋座面



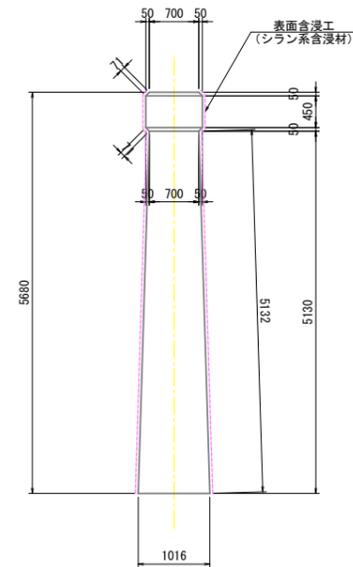
平面図



正面図



側面図



注) 1. 施工時においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
 2. 表面含浸工は、断面修復を実施した後に施工すること。

A1→A3に縮小印刷

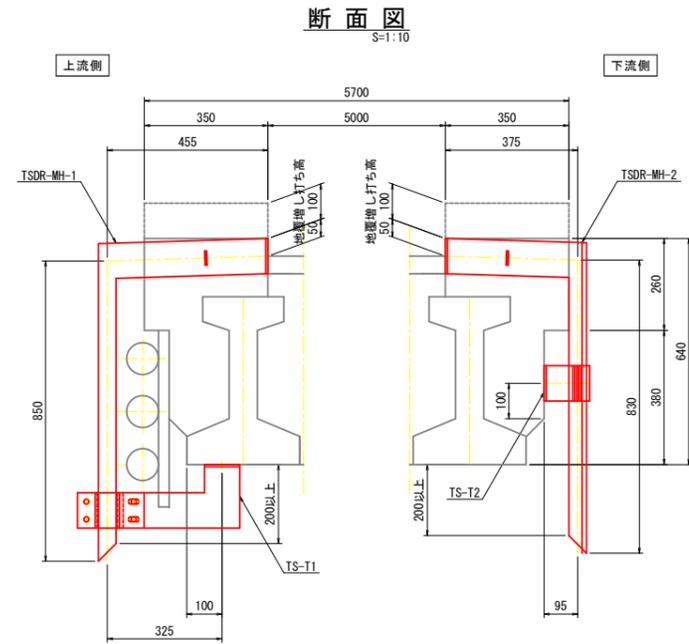


工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (4 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

小井手橋 補修図 (その5)

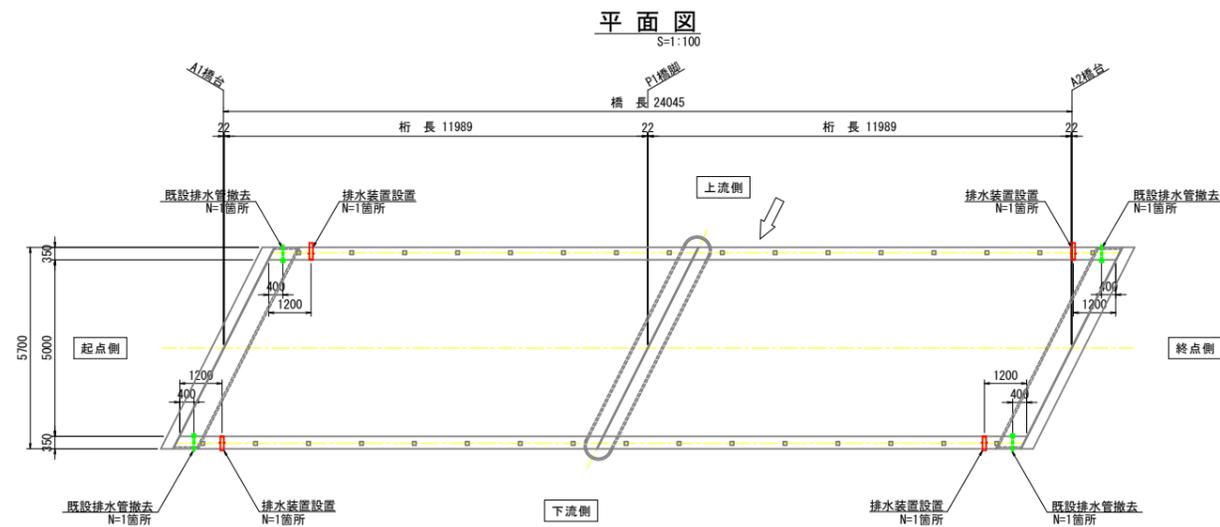
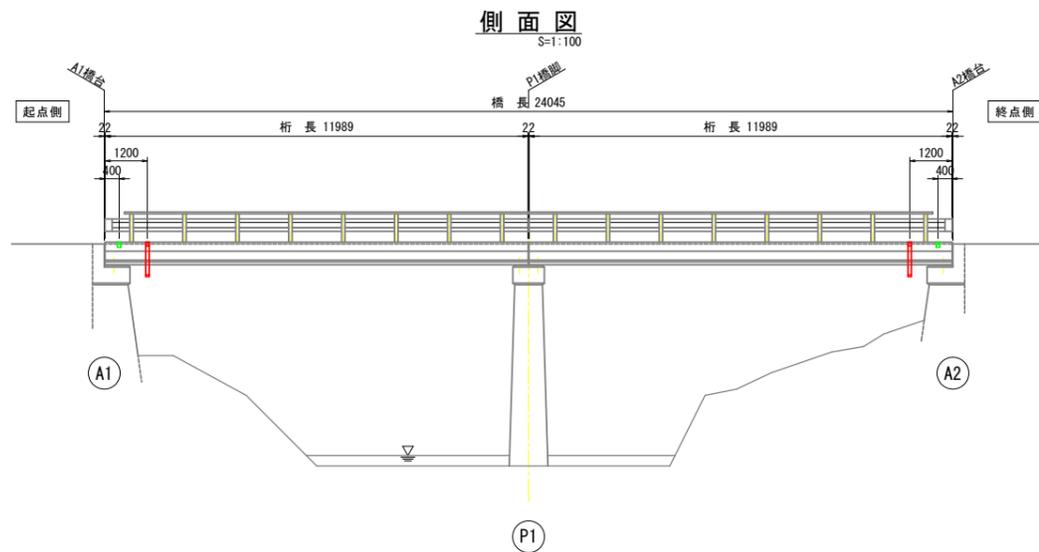
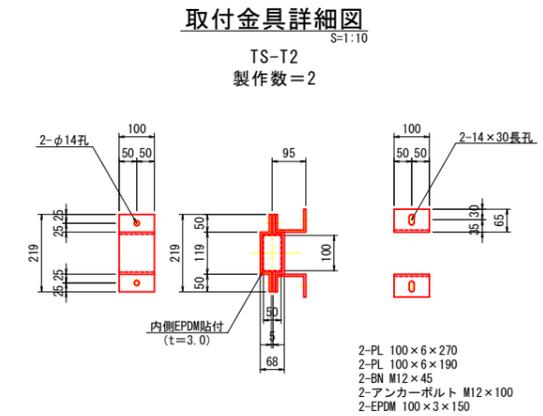
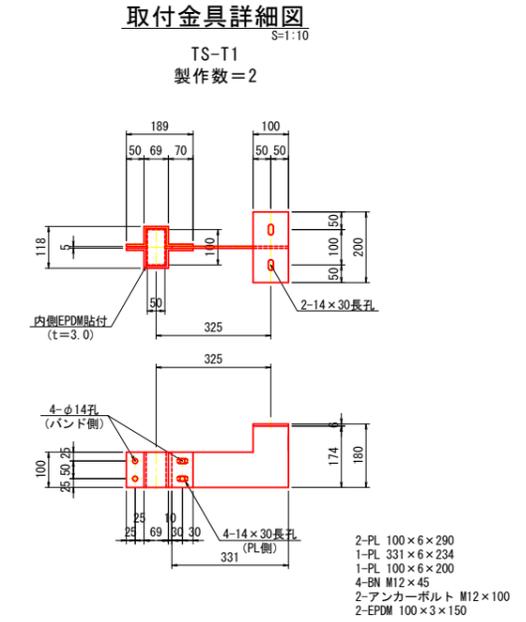
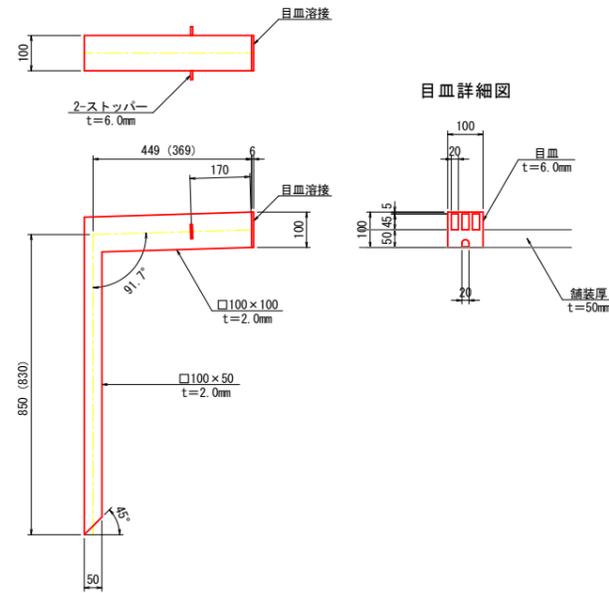
排水装置取替工

S=1:10



TSステンレス排水管詳細図

地覆部貫通型 角管仕様
TSDR-MH-1 (-2)
製作数=2 (2)



- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
4. 現地調査にて寸法確定後製作する。

A1→A3に縮小印刷



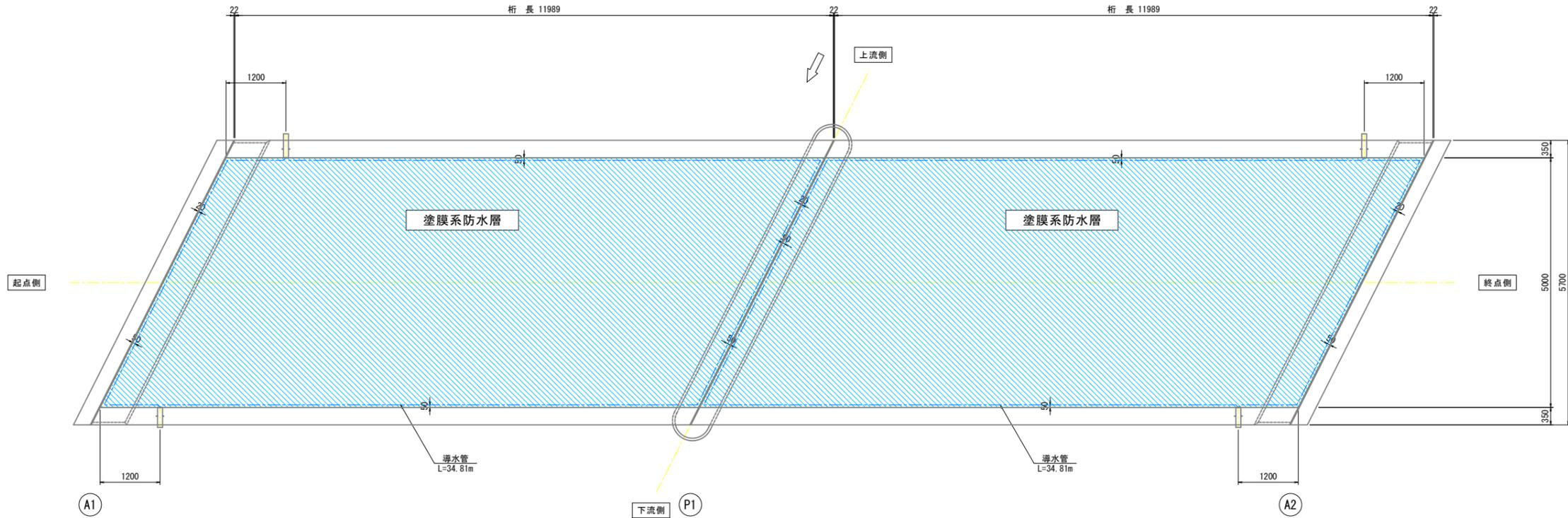
工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (5 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

小井手橋 補修図 (その6)

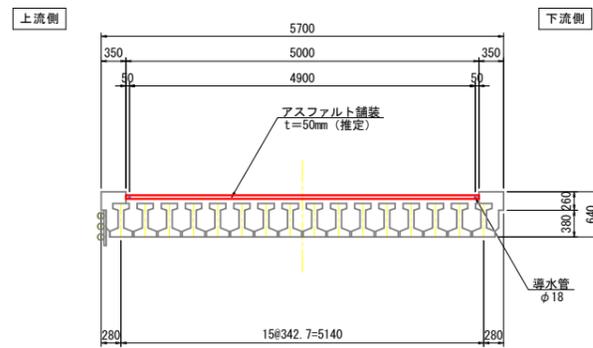
橋面防水工

S=1:50

平面図
(橋面)

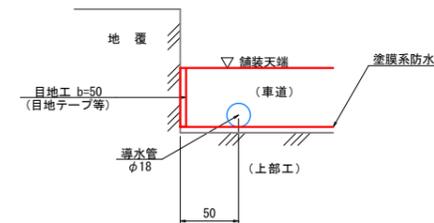


上部工断面図



橋面防水工

(塗膜系防水層)



注) 1. 施工時には、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 現橋の舗装厚50mmは、推定値である。

A1→A3に縮小印刷



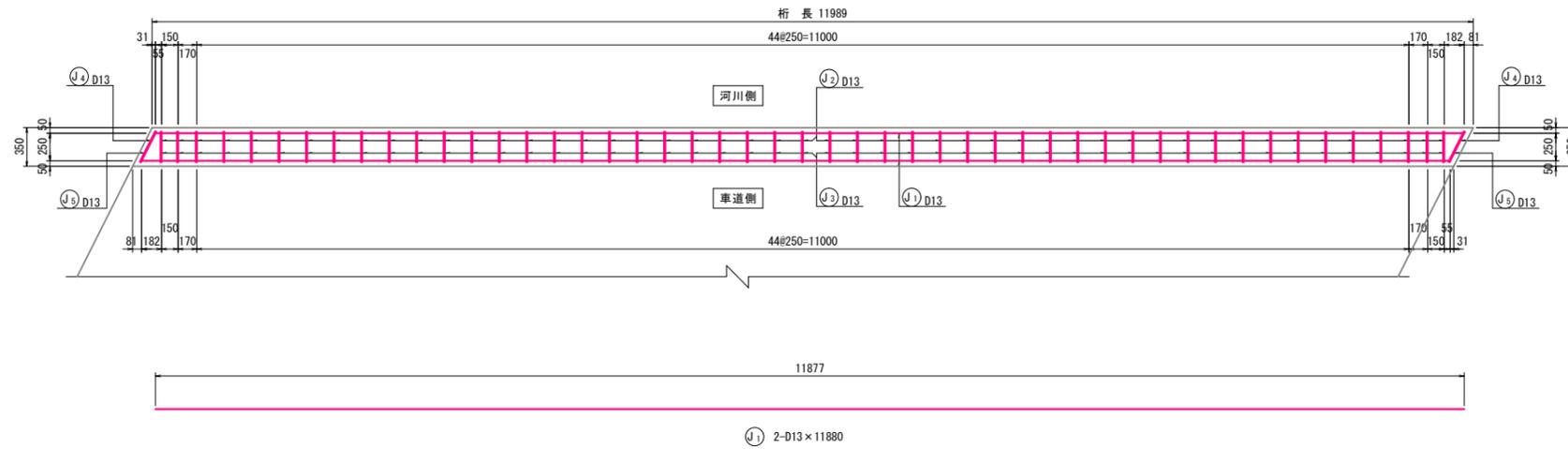
工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (6 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

小井手橋 補修図 (その7)

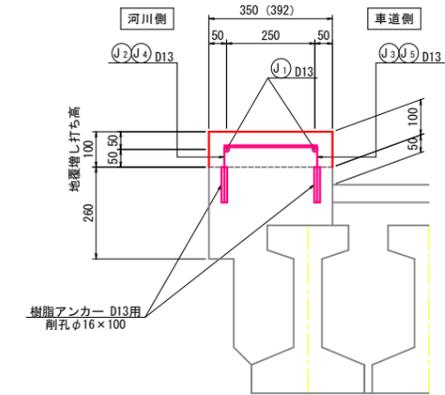
地覆増し打ち工 S=1:30

平面図 S=1:30

(橋面)

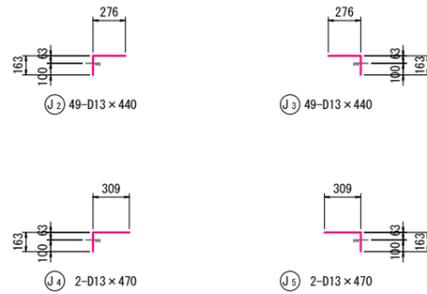


断面図 S=1:10



※ () は斜方向の寸法を示す。

名称	規格
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	D13



鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
J 1	D13	11880	2	0.995	11.82	24	—
J 2	D13	440	49	0.995	0.44	22	┌
J 3	D13	440	49	0.995	0.44	22	└
J 4	D13	470	2	0.995	0.47	1	┌
J 5	D13	470	2	0.995	0.47	1	└
						70 kg	
						D13	70 kg
						合計	70 kg
						樹脂アンカー D13用	102 個
全体数量							
鉄筋 D13				70 × 4箇所	=	280 kg	
樹脂アンカー D13用				102 × 4箇所	=	408 本	

注) 1. 施工時においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 地覆増し打ち工は、断面修復及び表面含浸を実施した後に施工すること。

A1→A3に縮小印刷



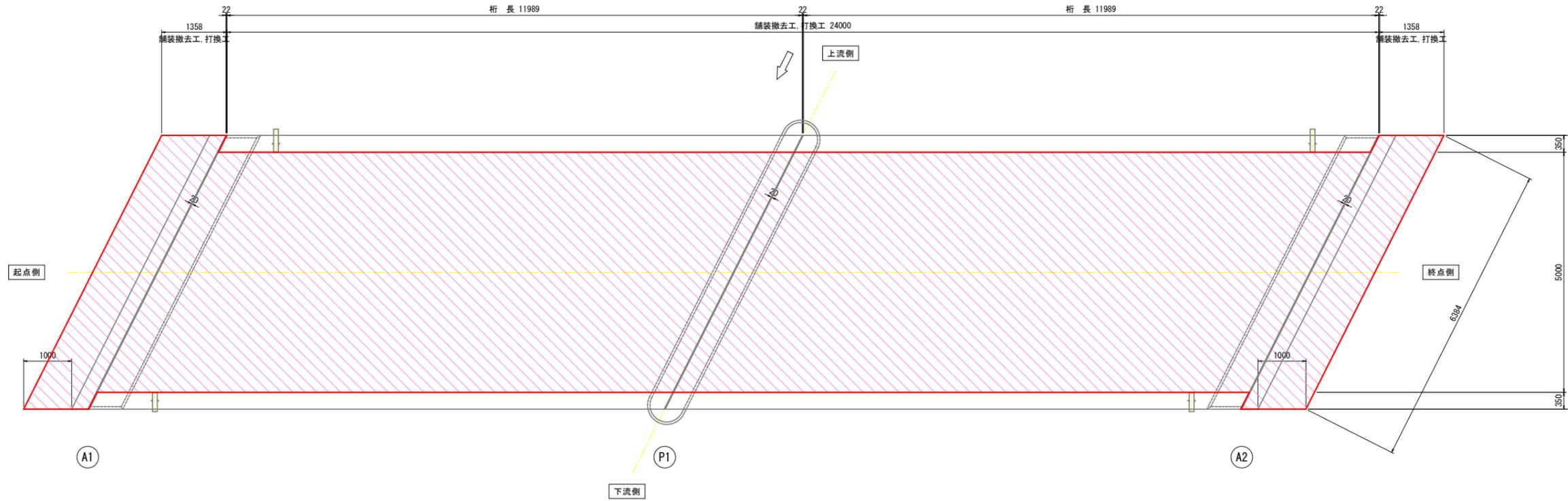
工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (7 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

小井手橋 補修図 (その8)

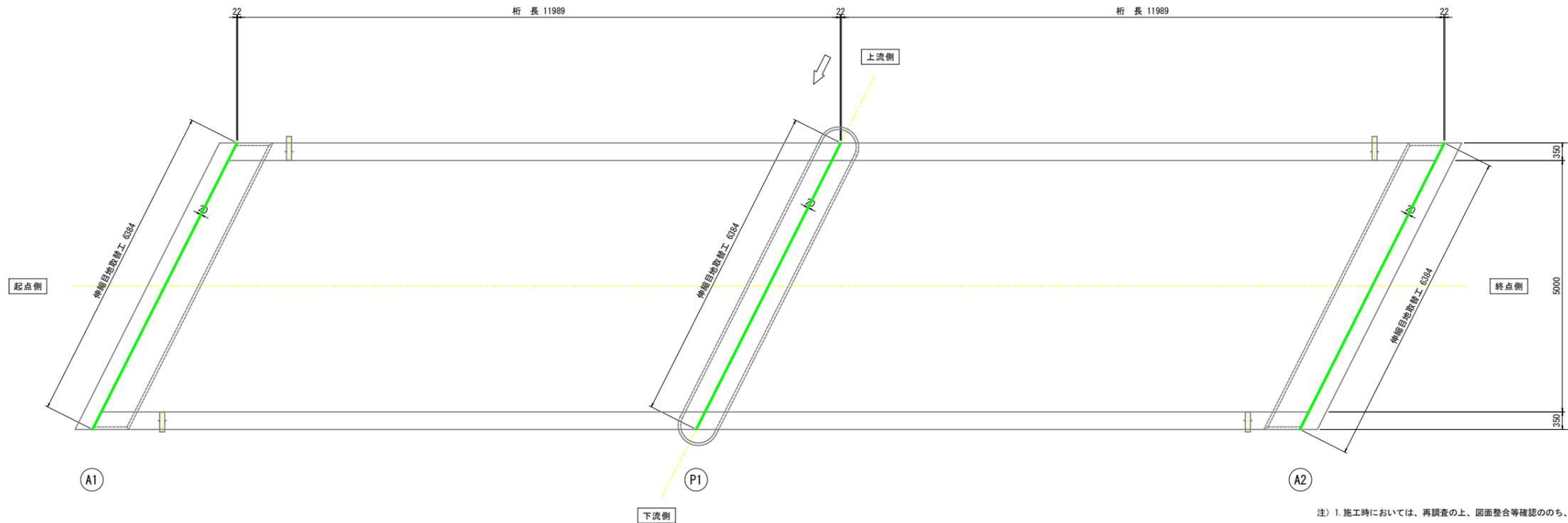
舗装打換工
伸縮目地取替工

S=1:50

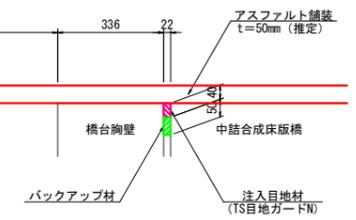
平面図
(舗装打換工)



平面図
(伸縮目地工)



断面図
S=1:10



A1→A3に縮小印刷



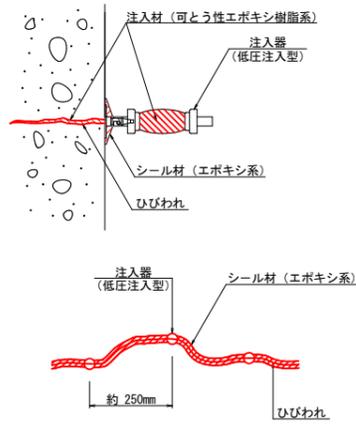
工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (8 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

注) 1. 施工時においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 現橋の舗装厚50mmは、推定値である。

小井手橋 補修図 (その10)

補修要領図 S=1/50

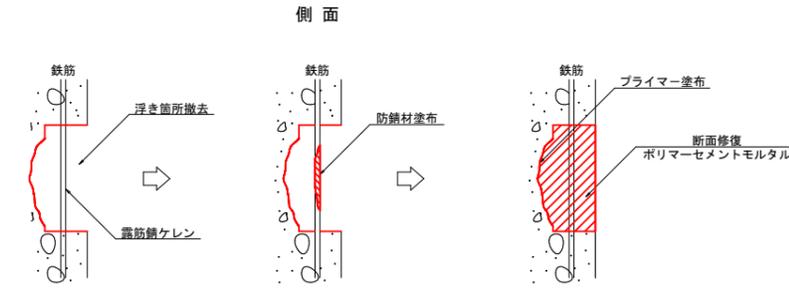
ひび割れ注入工



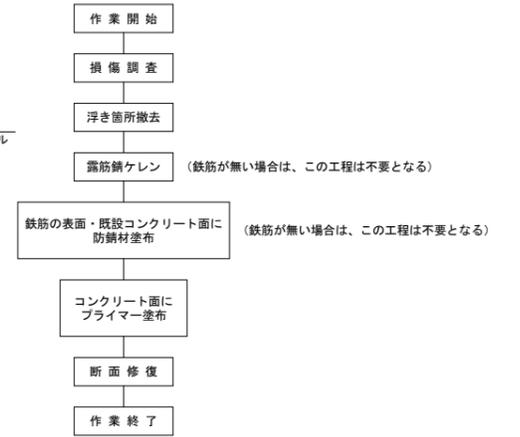
注) 遊離石灰が発生し、ひび割れが目詰まりしている箇所はドリル等で注入孔を確保して行うこと。



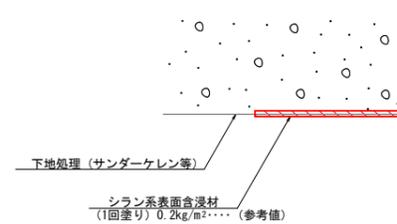
断面修復工 (左官工法)



- (特記事項)
1. 図中詳細寸法は、現地計測のうえ決定すること。
 2. 断面修復部に関しては、コンクリート脆弱部を確認し、修復深さ・範囲を決定すること。
(端部はL字カットを行うこと)
 3. 鉄筋を露出する場合は、鉄筋背面まではつり出すこと。
 4. 断面修復部の施工は左官工法とするが、状況に応じて工法を決定すること。
 5. 既設鉄筋が腐食し、断面減少が著しい場合は、新たに鋼材(既設鉄筋径)を追加する。
 6. はつり深さは想定である。既設鉄筋の裏側10mm程度を目安にすること。
(断面修復の深さは、50mmと想定し数量計上する。)



表面含浸工



<表面含浸工含浸材 使用>
含浸材は、シラン系 (アクアシール1400同等品) とする



A1→A3に縮小印刷



工事名	橋梁修繕工事 (小井手橋)		
図面名	補修図 (10 / 10)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図 示	図面番号	12 / 12
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

参 考 图 书

施工単価表

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
ひび割れ注入材 ボンドE2420相当品	0.011	kg			
シール材 ボンドE390相当品	0.048	kg			
注入器具 低圧注入器相当品	2.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.011 D=0.035 F=2	注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工単価表

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0004 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0005 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 13.49%

労務構成比:

80.49%

材料構成比:

6.02%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0018

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0006 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.39%

労務構成比: 9.73%

材料構成比: 88.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,695.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.94%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.10%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0006 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.39%

労務構成比: 9.73%

材料構成比: 88.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,695.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	88.30%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

伸縮装置工

V0060

単第0 -0007 表

簡易補修 TS目地ガードN相当品

1橋当り20m未満 既設伸縮目地撤去含む

20

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	4	人			
特殊作業員	5	人			
普通作業員	4	人			
目地材 TS目地ガードN 20mm×40mm 700gフィルムバック20本入/箱	26.88	kg			
バックアップ材	24.0	m			
マスキングテープ 21mm	48.0	m			
諸雑費	20	%			#09 労務費の20%
*** 合計 ***	20	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

地覆増し打ち工

V0020

単第0 -0012 表

1 式 当り

ck=24N/mm2

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
チッピング(岩盤面・打継面)	16.78	m2			単第0-0013 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.68	m3			単第0-0014 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	9.83	m2			単第0-0015 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.28	t			単第0-0016 表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	408	孔			単第0-0017 表
樹脂アンカー AP-12相当品	408	本			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0015 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

単第0 -0017 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.30% 労務構成比: 95.32%

材料構成比: 2.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

645.14000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.77%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.94%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

防護柵設置工
ベースプレート式 笠木付

V0070

単第0 -0019 表

支柱H950 曲柱 Gr-C-2B-4L-BPL

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	7	人			
特殊作業員	12	人			
普通作業員	7	人			
ガードレール ベースプレート式 笠木付 支柱H950 曲柱 Gr-C-2B-4L-BPL	47.952	m			
伸縮加工費	2	箇所			
アンカー 樹脂アンカー R-22N M22	112	組			
寸切りボルト M22 L=250mm	112	本			
諸雑費	10	%			#09 労務費の10%
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

橋名板等取付

SPK24040296

単第0 -0020 表

橋名板 300 × 150 × 15

1

枚 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 8.37%

材料構成比: 91.63%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

44,528.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	8.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
橋名板 ブロンズ製, 150 × 300 × 15 国土交通省タイプ	91.63%		銘板 300 × 200 × 13		TTPCH0045 TTPT00210
積算単価			積算単価		EP001
A=1 橋名板 300 × 150 × 15					

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0021 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88%

材料構成比: 14.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,348.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.95% 労務構成比: 38.97%

SPK24040151

DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)

材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0022 表

1
標準単価:

m3 当り

4,707.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0023 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54% 材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,562.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=3 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)			B=2 DID区間有り		

数量計算書

1. 小井手橋 補修数量

1.1 数量総括表

工種	名 称	規 格・寸 法	単 位	数 量	摘 要
ひびわれ注入工	ひびわれ延長	0.5~1.0mm未満	m	0.26	
	注入材	エポキシ樹脂	kg	0.011	ロス率40%, 0.029kg/m
	シール材		kg	0.048	ロス率37%, 1700kg/m ³
	低圧注入器具	0.3Mpa	個	2	
断面修復工	下地処理		m ²	11.47	
	断面修復工	プライマー	m ²	11.47	防錆処理含む
		ポリマーセメントモルタル	m ³	0.466	ロス率18%
表面含浸工	下地処理	サンダーケレン等	m ²	109.91	
	表面含浸工	含浸材塗布	m ²	109.91	
	表面含浸材	シラン系表面含浸材	kg	21.98	
排水装置取替工	既設排水管撤去工	鋼管	箇所	4	
	排水装置設置工	鋼管 上流側	箇所	2	
		鋼管 下流側	箇所	2	
	既設地覆取壊し工		m ³	0.01	
橋面防水工	防水層	塗膜系	m ²	119.90	
	導水管	φ18用	m	69.62	
	目地工	b=50mm, t=3mm	m	69.62	
舗装工	アスファルト切断	アスファルト舗装 t=50mm	m	18.20	
	舗装取壊し	アスファルト舗装 t=50mm	m ²	135.48	
	アスファルト舗装	アスファルト舗装 t=50mm	m ²	135.48	
伸縮目地取替工	既設伸縮目地撤去工		m	19.15	
	伸縮目地工	注入目地材 TS目地ガードN	m	19.15	
	注入目地材	20mm×40mm	ℓ	15.32	
	バックアップ材	20mm×50mm	m	19.15	
地覆増し打ち工	チッピング		m ²	16.78	
	コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	1.68	
	型枠	一般型枠	m ²	9.83	
	鉄筋	SD345, D13	kg	280	
	コンクリート削孔	電動ハンマドリル	孔	408	
	樹脂アンカー	D13用	本	408	

工種	名 称	規 格・寸 法	単 位	数 量	摘 要
防 柵 護 工	既設防護柵撤去工		m	47.95	
	ガードレール工	Gr-C-2B-4-L-BPL (トク)	m	47.95	
	橋名板取付	300×150×15	枚	4	
運 搬 処 理 工	コンクリート殻 運搬		m ³	0.41	断面修復工 + 既設地覆取壊し工
	コンクリート殻 処分		t	0.95	
	アスファルト殻 運搬		m ³	6.77	
	アスファルト殻 処分		t	15.91	
	現場発生品運搬		t	0.5	既設防護柵撤去工 想定数量
	スクラップ H3		t	0.5	
仮 設 工	吊足場	上部工部	m ²	48.36	
	吊足場	下部工 橋脚部	m ²	22.96	
	橋梁点検車		日	2	

1.2 ひびわれ補修工

1. ひびわれ注入工

種別	規格	計算式	単位	数量
クラック処理延長		次頁参照	m	0.26
注入材 (エポキシ樹脂)	ロス率40% 0.029kg/m	$0.029 \times 0.26 \times (1.00 + 0.40)$	kg	0.011
シール材	ロス率37% 1700kg/m ³	$0.040 \times 0.26 \times 0.002 \times 1700$ $\times (1.00 + 0.37)$	kg	0.048
低圧注入器具	0.3Mpa	0.26 / 0.250	個	2

注入工

(1) 注入延長=ひびわれ延長 設計量：W1 (kg) = (1m当り注入材重量kg/m) × L (m)

(2) 注入材重量

※1m当り注入材重量の算出

1m当り注入材重量は、下記と想定し算出する。

平均ひびわれ幅：W = 0.50 mm → 0.0005 m

平均ひびわれ深さ：D = 100 mm → 0.1 m (ひび割れ幅の200倍想定)

$$\begin{aligned}
 \text{1m当り注入材重量} &= W \times D \times 1/2 \times \gamma_1 \\
 &= 0.0005 \times 0.1 \times 1/2 \times 1150 \\
 &= 0.029 \text{ kg/m}
 \end{aligned}$$

必要量：W1' (kg) = W1 (kg) × (1.00+ロス率)

W : ひびわれ幅

D : ひびわれ深さ

L : ひびわれ延長

γ_1 : 注入材比重 = 1150 kg/m³

ロス率 = 0.40

(3) シール材重量

設計量：W2 (kg) = B (m) × L (m) × t (m) × γ_2

必要量：W2' (kg) = W2 (kg) × (1.00+ロス率)

B : シール材幅 = 0.04 m

t : シール材厚 = 0.002 m

γ_2 : シール材比重 = 1700 kg/m³

ロス率 = 0.37

2. ひびわれ延長集計表

部位	ひびわれ数量 (m)		
	ひびわれ注入工		ひびわれ充填工
	0.2~0.5mm未満	0.5~1.0mm未満	1.0mm以上
上部工	—	0.26	—
合計	—	0.26	—

1.3 断面修復工

1. 断面修復工（左官工法）

(1) 下地処理

$$A = 11.472 \qquad \Sigma A = 11.472 \text{ m}^2$$

(2) プライマー工（防錆処理含む）

$$A = 11.472 \qquad \text{防錆処理含む } \Sigma A = 11.472 \text{ m}^2$$

(3) 断面修復工

$$\begin{aligned} V &= 0.395 & \Sigma V &= 0.395 \text{ m}^3 \\ & & \times 1.18 \text{ : ロス率} &= 0.466 \text{ m}^3 \\ A &= 7.900 & \div 0.05 \quad \Sigma A &= 7.900 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

(4) コンクリート殻

$$\begin{aligned} V &= & &= 0.395 \text{ m}^3 \\ W &= 0.395 \times 2.35 \text{ (t/m}^3\text{)} & &= 0.93 \text{ t} \end{aligned}$$

2. 断面修復工数量計算書

番号	部位	寸法 (m × m)	切断延長 (m)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備考
上部工							
□ 1	地覆側面	0.20 × 0.60	1.600	0.050	0.200	0.006	
□ 2	〃	0.25 × 0.50	1.500	0.050	0.200	0.006	
□ 3	〃	0.10 × 0.15	0.500	0.050	0.040	0.001	
□ 4	〃	0.25 × 0.65	1.800	0.050	0.253	0.008	
□ 5	〃	0.25 × 1.00	2.500	0.050	0.375	0.013	
□ 6	〃	0.26 × 1.10	2.720	0.050	0.422	0.014	
□ 7	〃	0.26 × 0.80	2.120	0.050	0.314	0.010	
□ 8	〃	0.20 × 0.70	1.800	0.050	0.230	0.007	
□ 9	〃	0.05 × 0.15	0.400	0.050	0.028	0.001	
□ 10	〃	0.25 × 0.90	2.300	0.050	0.340	0.011	
□ 11	〃	0.20 × 0.60	1.600	0.050	0.200	0.006	
□ 12	〃	0.25 × 0.80	2.100	0.050	0.305	0.010	
上部工合計			20.940		2.907	0.093	
下部工							
□ 13	A1橋台	0.40 × 0.20	1.200	0.050	0.140	0.004	
□ 14	〃	0.80 × 0.60	2.800	0.050	0.620	0.024	
□ 15	〃	0.20 × 0.25	0.900	0.050	0.095	0.003	
□ 16	〃	1.40 × 0.20	3.200	0.050	0.440	0.014	
□ 17	〃	0.35 × 0.20	1.100	0.050	0.125	0.004	
□ 18	〃	0.30 × 0.40	1.400	0.050	0.190	0.006	
□ 19	A2橋台	0.15 × 0.25	0.800	0.050	0.078	0.002	
□ 20	〃	0.15 × 0.60	1.500	0.050	0.165	0.005	
□ 21	P1橋脚	0.17 × 0.80	1.940	0.050	0.233	0.007	
□ 22	〃	0.20 × 0.65	1.700	0.050	0.215	0.007	
□ 23	〃	0.17 × 0.15	0.640	0.050	0.058	0.001	
□ 24	〃	0.13 × 0.22	0.700	0.050	0.064	0.001	
□ 25	〃	0.10 × 0.12	0.440	0.050	0.034	0.001	
□ 26	〃	0.10 × 0.60	1.400	0.050	0.130	0.003	
□ 27	〃	0.10 × 0.60	1.400	0.050	0.130	0.003	
□ 28	〃	0.60 × 1.70	4.600	0.050	1.250	0.051	
□ 29	〃	0.30 × 0.70	2.000	0.050	0.310	0.011	
□ 30	〃	0.20 × 0.30	1.000	0.050	0.110	0.003	
□ 31	〃	0.20 × 0.30	1.000	0.050	0.110	0.003	
□ 32	〃	0.25 × 0.25	1.000	0.050	0.113	0.003	
□ 33	〃	0.25 × 0.30	1.100	0.050	0.130	0.004	
□ 34	〃	0.40 × 5.00	10.800	0.050	2.540	0.100	
□ 35	〃	0.18 × 0.20	0.760	0.050	0.074	0.002	
□ 36	〃	0.12 × 0.15	0.540	0.050	0.045	0.001	
□ 37	〃	0.10 × 0.13	0.460	0.050	0.036	0.001	
□ 38	〃	0.10 × 0.25	0.700	0.050	0.060	0.001	
□ 39	〃	0.15 × 0.25	0.800	0.050	0.078	0.002	
□ 40	〃	0.25 × 0.17	0.840	0.050	0.085	0.002	
□ 41	〃	0.32 × 0.25	1.140	0.050	0.137	0.004	
□ 42	〃	0.20 × 0.30	1.000	0.050	0.110	0.003	
□ 43	〃	0.10 × 0.10	0.400	0.050	0.030	0.001	
□ 44	〃	0.70 × 0.70	2.800	0.050	0.630	0.025	
下部工合計			52.060		8.565	0.302	
左官工法 合計			73.000		11.472	0.395	

1.4 表面含浸工

1. 表面含浸工

(1) 下地処理 (高圧洗浄・サンダーケレン等)

$$A = 109.91$$

$$\Sigma A = 109.91 \text{ m}^2$$

(2) 含浸材塗布 (シラン系含浸材)(0.2kg/m²)

$$A = 109.91$$

$$\Sigma A = 109.91 \text{ m}^2$$

(3) 含浸材 (シラン系含浸材) (0.2kg/m²)

$$A = 109.91 \times 0.20$$

$$\Sigma A = 21.98 \text{ kg}$$

部位	下向き施工	横向き施工	上向き施工
地覆	—	15.03	3.36
桁下面	—	—	4.80
上部工合計	—	15.03	8.16
下部工合計	0.44	86.28	—
総合計	109.91		

1.5 排水装置取替工数量

1. 排水装置取替工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	既設排水管撤去工			
①	鋼管		4	
	合計		4	箇所
	排水装置設置工			
①	鋼管 上流側		2	
	合計		2	箇所
	排水装置設置工			
①	鋼管 下流側		2	
	合計		2	箇所

2. 既設地覆取壊し工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	コンクリート取壊し			補修図（その5） 排水装置取替工
①		0.100 × 0.050 × 0.350 × 4	0.01	
	合計		0.01	m ³

$$\begin{aligned} \text{コンクリート殻 } V &= &= & 0.01 \text{ m}^3 \\ \text{コンクリート殻 } W &= 0.01 \times 2.35 \text{ t/m}^3 &= & 0.02 \text{ t} \end{aligned}$$

1.6 橋面防水工数量

1. 橋面防水工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	防水層 (塗膜系)			
①		11.989 × 5.000	59.95	
②		11.989 × 5.000	59.95	
	合計		119.90	m ²
	導水管 φ18用			
①		34.81 + 34.81	69.62	CAD計測値
	合計		69.62	m
	目地工 (b=50, t=3mm)			
①			69.62	
	合計		69.62	m

1.7 舗装工数量

1. 舗装撤去工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	アスファルト切断	平均舗装厚=0.050m		
①	A1側	6.384	6.384	
②	A1側	1.358 × 2	2.716	
③	A2側	6.384	6.384	
④	A2側	1.358 × 2	2.716	
	合計		18.200	m
	舗装取壊し	平均舗装厚=0.050m		
①	A1側	1.358 × 5.700	7.74	
②	A1～A2	24.000 × 5.000	120.00	
③	A2側	1.358 × 5.700	7.74	
	合計		135.48	m ²

$$\begin{aligned} \text{アスファルト殻 } V &= 135.48 \times 0.050 &= 6.77 \text{ m}^3 \\ \text{アスファルト殻 } W &= 6.77 \times 2.35 \text{ t/m}^3 &= 15.91 \text{ t} \end{aligned}$$

2. 舗装打換工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	アスファルト舗装	平均舗装厚=0.050m		
①	A1側	1.358 × 5.700	7.74	
②	A1～A2	24.000 × 5.000	120.00	
③	A2側	1.358 × 5.700	7.74	
	合計		135.48	m ²

1.8 地覆増し打ち工数量

1. 地覆増し打ち工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	チッピング			
①		11.989 × 0.350 × 4	16.78	
	合計		16.78	m ²
	地覆打換工 コンクリート			
	σ _{ck} =24N/mm ²			
①		11.989 × 0.350 × 0.100 × 4	1.68	
	合計		1.68	m ³
	地覆打換工 型枠			
	一般型枠			
①		11.989 × 0.100 × 8	9.59	
②		0.392 × 0.100 × 6	0.24	
	合計		9.83	m ²
	地覆打換工 鉄筋			
	SD345			
①	D13		280	
	合計		280	kg
	地覆打換工 樹脂アンカー (D13用)			
①			408	
	合計		408	本

1.9 伸縮目地取替工数量

1. 伸縮目地取替工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	既設伸縮目地撤去工			
①		6.384 × 3	19.152	
	合計		19.152	m
	注入目地材延長 (TS目地ガードN)			
①		6.384 × 3	19.152	
	合計		19.152	m
	注入目地材 (20mm×40mm)			
①		0.020 × 0.040 × 6.384 × 1000	5.107	
②		0.020 × 0.040 × 6.384 × 1000	5.107	
③		0.020 × 0.040 × 6.384 × 1000	5.107	
	合計		15.321	ℓ
	バックアップ材 (20mm×50mm)			
①		6.384 × 3	19.152	
	合計		19.152	m

1.10 防護柵工数量

1. 既設防護柵撤去工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	ガードレール工			
①		23.976 × 2	47.952	
	合計		47.952	m

2. 防護柵工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	ガードレール工	Gr-C-2B-4-L-BPL (トク)		
①		23.976 × 2	47.952	
	合計		47.952	m

3. 橋名板取付数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	橋名板取付			
①		300×150×15	4	
	合計		4	枚

1.11 仮設工数量

1. 仮設工（上部工）数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	吊足場	仮設参考図参照		
①		1.000 × 24.000	24.00	
②		1.000 × 24.358	24.36	
	合計		48.36	m ²

2. 仮設工（下部工 橋脚部）数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	吊足場	仮設参考図参照		
①		8.788 × 1.200 × 2	21.09	
②		0.894 × 1.047 × 2	1.87	
	合計		22.96	m ²

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	橋梁点検車			
①	BT200等		2	断面修復工(橋台部) 表面含浸工(桁下面部)
	合計		2	日

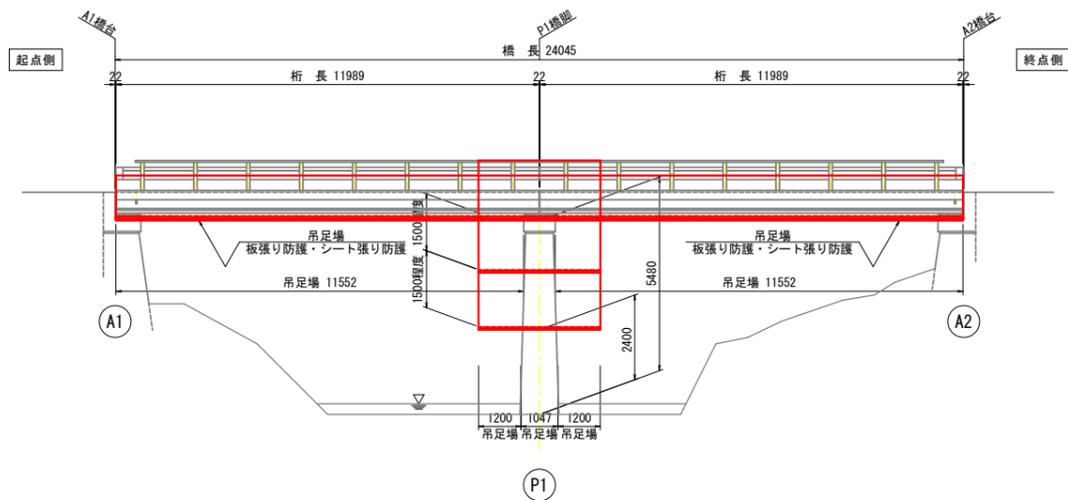
参 考 图

小井手橋 仮設参考図

(上・下部工施工時)

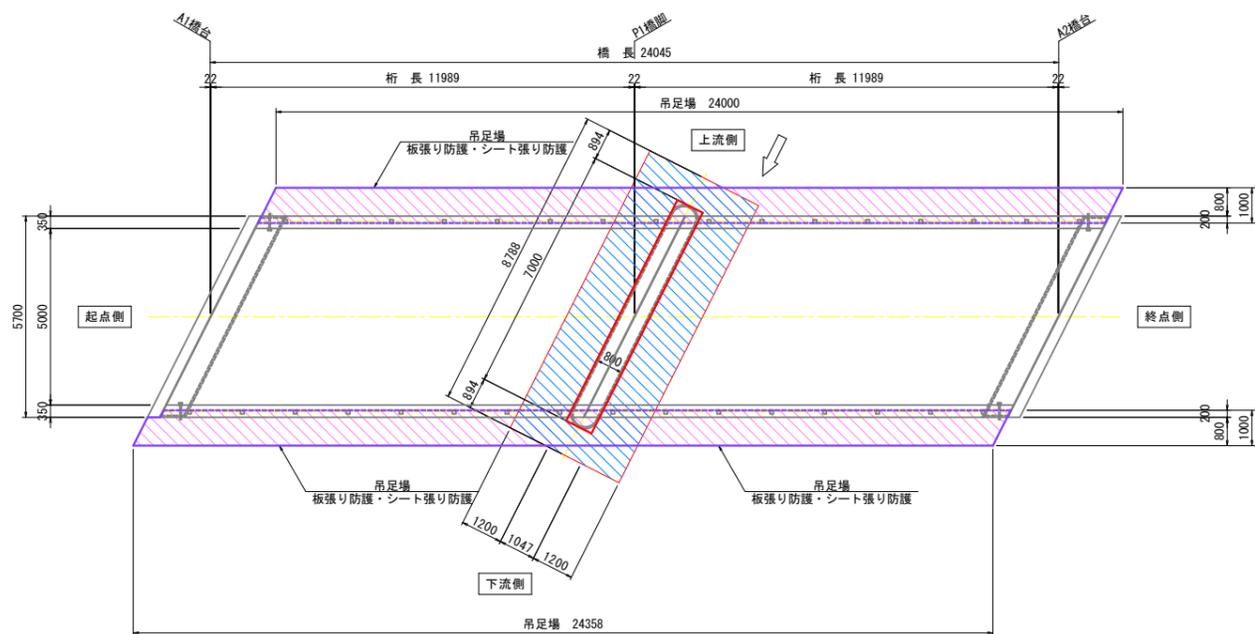
側面図

S=1:100



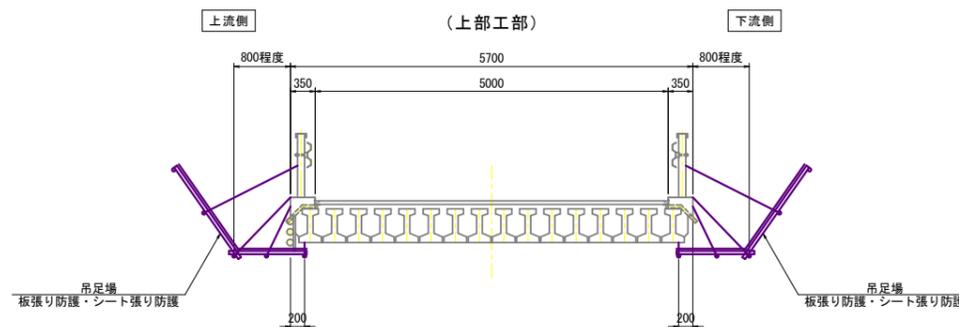
平面図

S=1:100

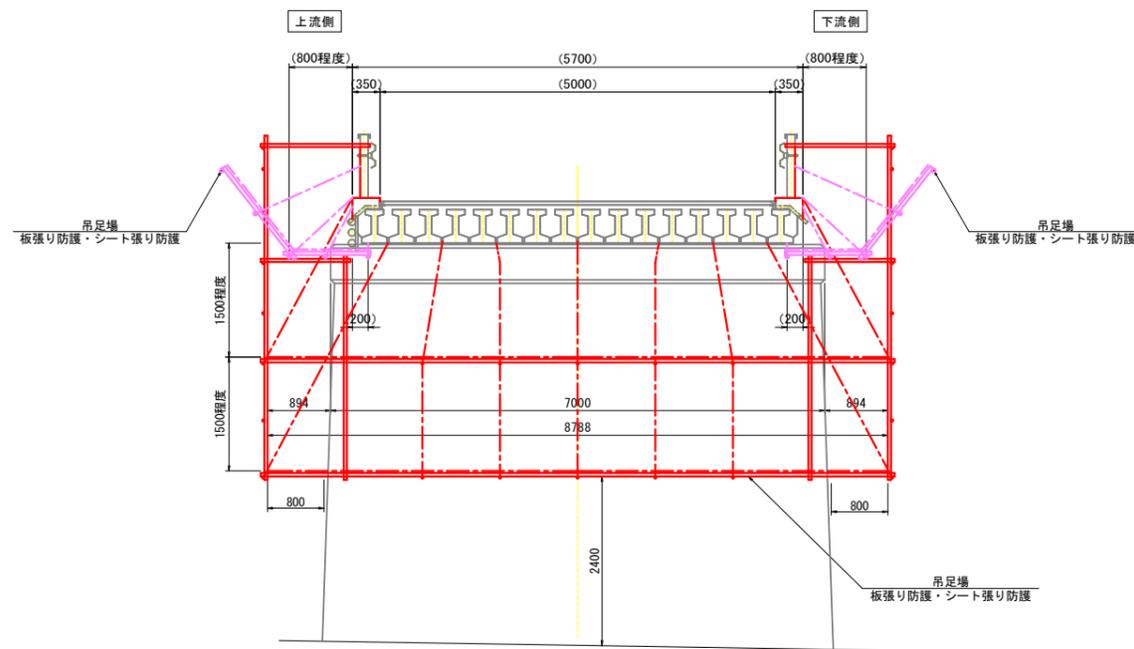


断面図

S=1:50



(橋脚部)



A1→A3に縮小印刷



工事名	橋梁修繕工事(小井手橋)		
図面名	仮設参考図(上・下部工施工時)		
作成年月	令和7年5月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		